

# 令和5年度 第52回 大学院セミナー

令和5年 10月12日

分野名 (責任者名)(内線)	産科婦人科学分野 責任者名(三浦清徳) 内線(7363)
演題	子宮頸癌の特性から考えた免疫療法の最前線
講師等	日本大学医学部 産科婦人科学系 産婦人科学分野 教授 川名 敬先生
概要	<p>子宮頸癌は30歳代に罹患のピークがあり、年間約7,000人が発症し、3,000人が死亡する癌です。ヒトパピローマウイルス(HPV)感染がその主な原因であることは広く知られています。HPV感染を抑えて子宮頸癌の発生を予防する「予防ワクチン」はすでに臨床使用されており、前癌病変に対する治療薬としての「治療ワクチン」の開発が進んでいます。HPV治療ワクチンは抗HPV細胞性免疫を誘導してHPV発現子宮頸癌細胞を免疫学的に排除する戦略で、これまでに海外で多くの臨床試験が実施されてきました。治療ワクチンにより、若年女性の子宮頸癌前癌病変に対する外科的治療を回避することが可能になり、妊孕性を失ったり、将来的な周産期合併症のリスクを低下させることが期待できます。</p> <p>世界初の粘膜免疫を利用したHPVを標的とした、治療用のがん免疫療法開発の先駆者である日本大学の川名 敬先生に、子宮頸癌の免疫療法についてご講演いただきます。</p>
開催日時	令和5年 10月 23日(月) 19:00~20:00
開催方法	オンライン(Zoom)
備考	受講を希望する場合は10月18日12時までに下記担当へご連絡ください。産科婦人科 松本加奈子 内線:7363 メールアドレス: <a href="mailto:kanako1027gain@nagasaki-u.ac.jp">kanako1027gain@nagasaki-u.ac.jp</a> If you would like to participate in this seminar and need Zoom ID and Password, please contact Assistant Prof. Matsumoto by 12:00 p.m. on October 18. (Email: kanako1027gain@nagasaki-u.ac.jp)

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)